



どうやって
装填するの？
痛くない？

専用の器具を使って、肩甲骨の周辺に皮下注射します。通常の注射針より太いので痛そうに思えますが、ほんの数秒で完了しますので、予防接種と同じくらいの反応を示すコがほとんどです。キズも残らず、異物が入っているという違和感もありません。



どのくらいから
装填できるの？
犬猫以外にも
できるの？

通常、犬は生後2週齢ころから、猫は生後4週齢ころから装填できますが、個体差がありますのでご相談ください。

また、マイクロチップの使用はほとんどすべての動物(哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類)に可能といわれています。フェレットやウサギなどへの装填もご相談ください。



費用は？
予約や手続
きは必要？

当院では4,000円(税抜き)で行っております。書類等の提出も当院がいたしますので、ペットの体調が良いときにご来院くださるだけで簡単に装填・登録ができます。ご予約も基本的には必要としませんが、常備しております数に限りがありますので、事前にお問い合わせくだされば確実です。

また、引越しなどで登録内容に変更が生じた場合や、不幸にもペットが亡くなった場合にも手続きが必要となります。

登録される情報

- 装填した年月日
- 飼い主の情報(氏名・住所・電話番号など)
- ペットの情報(名前・生年月日・性別・動物種・品種・毛色)
- 装填した獣医師と動物病院の情報

動物病院や保健所が、読み取った固体識別番号(ID)を問い合わせることによって、これらの情報を照会することができます。



いつ何があるか分かりません。迷子札や首輪も外れてしまうかもしれません。マイクロチップは、言葉が話せないペットのための、安全で確実な身元証明の手段なのです。



マイクロチップで安心!

今年も暑い夏がやってきました。私たちは夏バテしないように、動物たちは熱中症や皮膚疾患、消化器疾患などに気を付けてあげて、みんなで元気に乗り切りましょう!

今回の特集は「マイクロチップ」についてです。「痛くないの?」「費用は?」など、いろいろな疑問を解決いたします!



マイクロ
チップって?

15桁の固体識別番号(ID)が記録された、とても小さな器具です。専用のリーダーで番号を読み取ることによって、どこの誰ちゃんかが世界のどこにいても確認できます。つまり、ペットの住民票でありパスポートとなるのです。

だから、迷子・盗難・逃亡・災害・事故などの不慮の事態や、海外渡航時にとても役立ちます(海外へ犬猫を連れて行く際、マイクロチップによる固体識別が義務となりました)。



どんなもの?
安全性は?

直径2mm×長さ13.5mmの細長いカプセル状で、ペットの体に害のない素材でできています。少なくとも30年は使えるように設計されていて、マイクロチップ自体が電波を発したり電池を必要としないしくみになっているので、一度装填すれば一生有効です。

また、体内を移動しないような工夫がされているので、脱落することはありませんし、装填による副作用の報告もほとんどありません。

当院では大日本住友製薬株式会社が販売している「ライフチップバイオサーモ」を取り扱っております。これはリーダーをかざすだけでID番号とともに、ペットの体温も表示してくれるので、簡単に体温を測定することができます。

